



学校だより 7月号

かさま

令和4年6月24日

No.494 横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】かゝがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

「せんせいって」

ゆめいっぱい やるきいっぱい みんなといられてしあわせ

校長 中里 純子

「校長先生、いつもわたしたちをまもってくれてありがとうございます。いくつになっても元気でいてください。」先日2年生の子どもから、折り紙で作ったプレゼントと一緒にもらった手紙にはこう書かれていました。こんなことをしてもらえるなんて、笑顔いっぱい、一度に疲れも吹き飛びます。子どもたちの学校での安心・安全を守るのが校長の仕事です。あまりにも核心をついていて、改めて自分の仕事の責任を感じ、身の引き締まる思いがしました。



『せんせいって』という絵本があります。大阪の小学校の先生が出版したもので、そこには先生の仕事の大変さとやり甲斐がえがかれています。先生を様々な生き物に例えて、「朝はチーターのように走って学校に来ます。給食はわんちゃんのように素早く食べ、放課後も会議などがあって働きバチのようです」と表現しています。でも、先生は「ゆめいっぱい やるきいっぱい みんなといられてしあわせだよ」と言います。

忙しいけれど、喜び悩み成長する子どもたちを目の前にして、その子どもたちと直接かわり、素直に反応がもらえる、こんなに有難い仕事はないと私も思っています。笠間小の職員も毎日とても忙しくしていますが、皆「子どもたちのために」と同じ思いをもって仕事をしています。

先日、笠間小の運動会が終わりました。運動会に向けて、コロナ禍のなかで「子どもたちのために」出来ることは何かを全職員で考えました。運動会の練習が始まると、毎朝、職員で協力し合って校庭にラインを引いたり、暑さ対策にミストシャワーを設置したり……。どれも子どもたちの頑張る姿や笑顔を思いながらの仕事です。当日の休憩タイムのミストシャワーは、暑さの中で頑張る目の前の「子どもたちのために」と職員が考えたもので、子どもたちも大喜びでした。こうした行事を通して、私たち職員は子どもたちの笑顔と成長に触れ、ゆめいっぱい、やるきいっぱい、幸せな気持ちになるのです。会場の皆様からは、運動会当日、一人ひとりの子どもたちの最後までやり通す全力の姿にたくさんの拍手をいただきました。ご声援、誠にありがとうございました。保護者アンケートでは、多くの保護者の方からご理解を示していただいたこと、有難く思っております。PTAの皆様のご協力、警備員の配置に加え、テントの設置や参観者2名のスムーズな入替も出来ました。運動会を通して、改めて、「学校は、皆様の支えがあってこそ」ということを感じました。感謝の気持ちでいっぱいです。今回の運動会の振り返りは、全職員で行い、「子どもたちにとって」よりよい運動会となるよう、次年度にいかしてまいります。